

なし

発行年	1910
URL	http://hdl.handle.net/10114/467

三月三十九日

本月可成而中ニハ多クテ土地建物
貸借致主ニ関スル慣例ノ有ク取
以照合ニ依リ調査スル者其郡内
名所所波麻拉ノ各郡ニ於テハ慣例無
ニテ各々徳島市及板野勝浦等處ニ
郡ニ於テハ左記ノ通り一ノ慣例有
之其此段及由云々也

明治廿六年七月廿九日

徳島縣志事 村上義雄印

内務省記左ノ中

内務省

記

一不動産貸借ノ借主ヨリ貸主ニ成モソノ
ノ慣例アリヤノ件
徳島市ニ於テハ平少租ハ地ノサレ成ニ部
多ク於テハ此慣例アリ板野外ニ郡ニ於テ
ハ貸借者相互ノ契約ソルノ概ス成モソ
ノルノ慣例アリ
一農地ハ家屋貸借ノ場合ニ限ルモノナリヤ
耕作地建一坪地等ノ貸借ニモ成モソノ
ノ慣例アリヤノ件
家屋耕作地建坪地等此慣例アリト
成モ最モ普通ニ行ハルノ家屋ノ貸借
上ニアリ其耕作地ノ如キハ平少租ニ當リシ

一 穀類地ノ利キハ最モ稀ナルナリ

一 穀主ノ預リ主其利子ヲ拂フノ慣例アリヤ
ノ件

一 穀主ハ利子ヲ拂フノ利トモ其利子
ヲ見込ニ數金ナキハ白リハ預貸料ノ幾
少ソ減ズ慣例ナリ

一 貸主ハ穀主居クハ其利子ヲハテ借賃ノ
不拂其他損失ノ補償等ノ常ニコレヲ得
ルモノナリ

一 元來數金ハ借賃ノ不拂其他損失ノ補
償等ニ充テル目的ヲ以テ所謂預金ト
シテ預ルモノナリ借主若シ其穀類ノ盡
サレトハハ之ヲ以テ盡テ其利子ヲ為シ得
トス

内務省

一 尤モ損失ノ補償ハ其事實ニ於テ稀ニ見
トス

一 貸主満期ニ至リ借主未タ其穀類ノ并
濟シテハサレバ貸主ハ數金ヲ返シテ其ノ
慣例アリヤノ件

一 前項既述ヘンカハタルツハテ貸主満期
ニ至リ借主ハ穀類ヲ賣リセザレバ數金ヲ
以テ差引ツ為シサ向銀ヲアレハ之ヲ返還ス尤
モ借主依然穀類ヲ負擔ス事地味ナ
キカハ内務省數金ハ貸主ニ於テ亦モ預リ
トスモノナリ